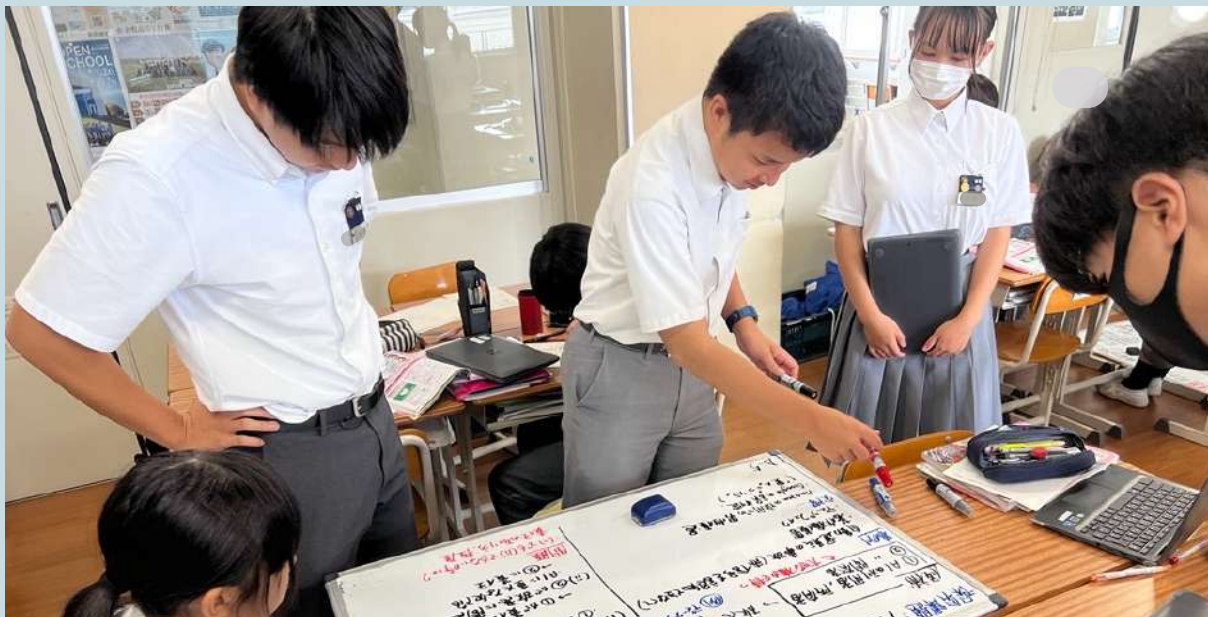


令和7年度 岡山大学附属中学校 教育研究発表会のご案内(二次案内)



共通研究主題

ウェルビーイングの実現に向けて探究し、
自ら資質・能力を高める生徒の育成
～令和の日本型学校教育を目指す
カリキュラム・マネジメントを通して(第一次)～

日 時 令和7年11月21日(金)
時 間 13:30～16:40 (受付13:00～)
発表教科 社 数 理 体 家 英

13:00 13:30 13:50 14:00 14:50 15:10 16:40

受付	全体会 (20分)	移動	公開授業 (50分)	移動	研究協議会 (90分)
----	--------------	----	---------------	----	----------------

会 場 岡山大学附属中学校
(岡山市中区東山2丁目13番80号)

交通案内 JR岡山駅から路面電車「東山行」に乗車
終点「東山・おかでんミュージアム駅」から南に徒歩5分



参加申込 下記申し込みフォームもしくはQRコードから必要事項をご入力の上、
11月19日(水)までにお申し込みください。対面のみで実施いたします。
<https://forms.gle/fhSvYUzmYB3Lvd8LA>

お問い合わせ 研究主任 三村脩祐



086-272-0202



p8cy1ujx@okayama-u.ac.jp

主催：岡山大学附属中学校・岡山大学

後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会



令和7年度 岡山大学附属中学校教育研究発表会（二次案内）

令和7年11月21日（金） 会場 岡山大学附属中学校

ご挨拶			
皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の研究活動にご協力を賜り、心からお礼申し上げます。本校では今年度から「ウェルビーイングの実現に向けて探究し、自ら資質・能力を高める生徒の育成～令和の日本型学校教育を目指すカリキュラム・マネジメントを通して(第一次)～」を共通研究主題として、教育実践に取り組んでおります。学校教育目標「自主自律 豊かな心で たくましく」のもと、ウェルビーイングの実現に資する学びのデザインと、その成果の可視化に努めております。本研究発表会では、各教科における授業公開と研究協議を通して、主題の具体化の過程と成果、ならびに今後の課題を共有いたします。当日は格別のご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。			
校長 前田 潔			
共通研究主題と共同研究者			
全体編	ウェルビーイングの実現に向けて探究し、自ら資質・能力を高める生徒の育成 ～令和の日本型学校教育を目指すカリキュラム・マネジメントを通して(第一次)～		
助言者	岡山大学附属学校機構長 ウェルビーイング学会 理事	狩野 光伸	岡山大学学術研究院教育学域 教授 桑原 敏典
各教科の研究主題と共同研究者			
国語科	考えを自覚的に表現し合う生徒の育成 ～「質問」を契機として～	助言者	岡山県総合教育センター指導主事(研修部)市村 舞子
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 宮本 浩治
		研究会	岡山大学学術研究院教育学域 准教授 池田 匡史
			倉敷市立庄中学校 教諭 平櫛 和男
		研究協力員	備前市立備前中学校 教諭 後藤 亨朗
			瀬戸内市立邑久中学校 教諭 四十塚 都
社会科 公開	社会との関わりを自覚し、より良い未来を構想していく生徒の育成 ～自らの学びを深化させていく活動を通して～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(研修部) 有宗 義紘
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 桑原 敏典
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 山田 秀和
		研究会	岡山市立瀬戸中学校 校長 西山 径
		研究協力員	岡山市立興除中学校 教諭 渡邊 晶
			津山市立津山東中学校 教諭 松本 祥輝
数学科 公開	日常生活や社会の事象に数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決しようとする生徒の育成 ～つながりを意識した指導を通して～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(企画部) 福島 大祐
			岡山大学学術研究院教育学域 准教授 服部 裕一郎
			岡山大学学術研究院教育学域 講師 石橋 一昂
		研究会	岡山市立高島中学校 校長 一守 和弘
		研究協力員	玉野市立宇野中学校 教頭 森 裕司
			岡山市立操山中学校 教諭 川本 芳弘

各教科の研究主題と共同研究者			
理科 公開	自然の事物・現象を多面的・総合的に捉え、理科の見方・考え方を働かせて未来の課題に主体的に向き合う生徒の育成—『エネルギー概念』を柱にした、3年間を系統的に貫くカリキュラム—	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(研修部) 近藤 広理
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 藤井 浩樹
			岡山大学学術研究院教育学域 准教授 川崎 弘作
		研究会	岡山市立芳田中学校 校長 西川 裕
		研究協力員	岡山市立高島中学校 教諭 菅野 文也
			岡山市立高島中学校 教諭 家岡 正明
音楽科	豊かな創造性を備えた生徒の育成 ～生活や社会とつながる音楽活動をデザインするカリキュラムを通して～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(研修部) 谷口 香織
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 早川 倫子
			岡山大学学術研究院教育学域 講師 高須 裕美
		研究会	岡山市立桑田中学校 教頭 塩見 聡
		研究協力員	岡山市立操山中学校 教諭 福岡 詩織
			岡山市立福浜中学校 教諭 岡崎 真衣
美術科	創造活動の遊ぶ活動と教わる活動を行き来し、自らの学習を調整しようとする生徒の育成	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(研修部) 林 勇介
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 清田 哲男
		研究会	岡山市立岡山中央中学校 校長 横田 さなえ
		研究協力員	岡山市立福浜中学校 教諭 山田 素子
保健 体育科 公開	ウェルビーイングなスポーツライフを実現する生徒の育成 ～AIを活用して資質・能力を高める授業の提案～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(教育支援部) 岩田 明裕子
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 足立 稔
			岡山大学学術研究院教育学域 准教授 原 祐一
		研究会	岡山市立岡山中央中学校 教諭 小野 哲弥
		研究協力員	岡山市立芳泉中学校 教諭 小林 健太郎
技術科	技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を自ら高める生徒の育成 ～ウェルビーイングの実現に向けた問題解決を軸としたカリキュラム・デザインを通して～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(企画部) 大守 徹
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 入江 隆
		研究会	倉敷市立黒崎中学校 教頭 日吉 康幸
		研究協力員	岡山市立妹尾中学校 教諭 西崎 康晴
家庭科 公開	生活の中に多様な視点を持ち、意思決定できる生徒の育成 ～エンドレスクッキーを起点としたカリキュラムマネジメントの工夫～	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(企画部) 前田 望美
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 李 璟媛
			岡山大学学術研究院教育学域 准教授 久成 三有紀
		研究会	玉野市立東児中学校 校長 大山 都
		研究協力員	美作大学 准教授 小橋 和子
			倉敷市立東陽中学校 教諭 川上 祥子
英語科 公開	スピーキング能力の向上を図るために、自律的に学び続ける生徒の育成と授業の提案	助言者	岡山県総合教育センター 指導主事(研修部) 則次 理美
			岡山大学学術研究院教育学域 教授 阿部 真理子
			岡山大学学術研究院教育学域 准教授 小山 尚史
			岡山大学学術研究院教育学域 講師 山形 悟史
		研究会	岡山市立東山中学校 校長 小野寺 達明
		研究協力員	岡山市立竜操中学校 指導教諭 三宅 るり子

公開

…今年度、公開授業及び研究協議会を実施



令和7年度中学校教育研究発表会 公開授業の内容



13:00 13:30 13:50 14:00 14:50 15:10 16:40

受付	全体会 (20分)	移動	公開授業 (50分)	移動	研究協議会 (90分)
----	--------------	----	---------------	----	----------------

全体会(13:30～13:50)

本校では、生徒が多様な学びを通して探究し、自ら資質・能力を高めながら成長を実感し、ウェルビーイングの実現へとつながる教育の在り方を追究しております。

当日は、本校独自の「ウェルビーイング指標」による定量結果と、学校全体でウェルビーイングを支える枠組みならびに各教科の学びとの結び付きの全体像についてご報告申し上げます。

また、「今日も充実、明日が楽しみ」の実現に向け、各教科・総合的な学習の時間・学校行事を有機的に結ぶカリキュラム・マネジメントの考え方と運用上の工夫についても共有いたします。

公開授業/研究協議会(14:00～16:40)

教科名	授業テーマ	学年・組	授業会場	協議会会場	授業者
	授業の概説・目指す生徒の姿				
社会科	アメリカ合衆国の多文化社会から日本の未来を考える	1年A組	1年A組教室	1年A組教室	大室 匡史
	本授業では、アメリカ合衆国の多文化社会をあらわす「るつぼ」と「サラダボウル」という2つのキーワードから、移民が築いた社会の現実を探究します。他者との対話だけでなく生成AIも活用し多面的・多角的な視点でアメリカ合衆国の文化を捉え、日本における多様性を尊重することの価値を見つめ直す生徒の姿を目指します。				
数学科	日常の事象を数学的に考える ～関数とみなすことで見えてくる世界～	3年A組	3年A組教室	3年A組教室	佐々木 皓平
	本授業では、コロナ禍に行動目標とされた、接触機会の8割削減を題材とし、日常で曖昧に使われている数学を批判的に考察します。前提について議論し、関数とみなすことや、理想化・単純化することについても根拠を明らかにすることで、「なるほど、数学で説明できる!」と自信を深める生徒の姿を目指します。				

公開授業/研究協議会(14:00～16:40)

教科名	授業テーマ	学年・組	授業会場	協議会会場	授業者
	授業の概説・目指す生徒の姿				
理科	次の授業が楽しみになる理科 ～大地が動く!そのとき何が?～	1年C組	第1理科教室	第2理科教室	岩田 和徳
	本授業では、プレートの動きに関係すると考えられている地球内部の働きを、他の領域と関連付けながら科学的に探究します。エネルギー概念を柱とした仮説検証型の学習を通して、地球に関する自然の事物・現象を時間的・空間的な視点で捉えられるように本授業をデザインします。さらに、地球のダイナミックな変化に関心をもち、火山や地震などの自然現象へとつなげることで、生徒が「次の授業も楽しみだ!」と感じられるような、ウェルビーイングの向上にもつながる学びを単元を通して実現します。				
保健体育科	器械運動(跳び箱) ～AIを活用して資質・能力を高める～	1年B組	体育館	1年B組教室	藤本 浩輝
	本単元では、「ゲーム論」の考え方を基に、ゲームとしての跳び箱の挑戦課題をプレイフルに楽しむことを目指して、仲間とともに学び合う場をデザインしました。器械運動の領域では、補助や技の出来栄を相互に評価する場面など、双方向の学びの質が非常に重要です。本授業では、自己の学びの様子をAIを用いて客観的に知る機会を設定し、自らの資質・能力を高めていこうとする生徒の姿を目指します。				
家庭科	食事の役割とは? ～You are what you eat.～	1年D組	被服教室	被服教室	木村 祐香
	本授業では、教科書のコラム『You are what you eat.』やISS(国際宇宙ステーション)の食事の様子から、「なぜ食事をするのか?」という問いを考察します。生成AIを活用して、生徒が自分の食生活を可視化することで、食事の生物学的、社会的、心理的役割を多角的に捉える場面を設定しました。この学びを通して、ウェルビーイングな食生活の構築に向けて主体的に学習に取り組む生徒の姿を目指します。				
英語科	Design for Change ～人々に望ましい行動を促す工夫を考えよう～	3年B組	3年B組教室	International Room	大森 早央里
	英語科では、帯活動でのスピーチの書き起こしや振り返りシートを用いた内省を通して、スピーキング能力の向上のために自律的に学び続ける生徒の育成を目指しています。本授業では、人々に望ましい行動を促すデザインを参考に、身近な問題を解決するための工夫を考えます。教科書の内容理解や工夫を共有する場面で、帯活動を発展させた取り組みを行います。				